

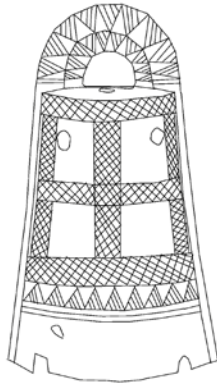
菱環鈕 2 II 式 4 区袈裟襷文

「菱環鈕 2 II 式」 4 区袈裟襷文

※正面観で確認できる身の反りがあり、緒の幅が狭く、
緒の上端幅が、菱環部のうち緒より内側の部分の幅よりも狭いもの

○出土地不明 明治大学 4 号鐸

☆出土地不明 明治大学 4 号鐸 明治大学博物館蔵
菱環鈕 2 II 式 4 区袈裟襷文 高さ 30.2 cm



観察想像スケッチ

4 区袈裟襷文

中縦帯が第二横帯だけを切るスタイル

左右の縦帯と緒の間に空間

下辺横帯は鋸歯文

下界線は 3 条

鈕部分は鋸歯文が 2 帯

緒部分は無文

裾の型持孔あり

身の型持孔が第一横帯に近いという新しい銅鐸の仕様になっているのが特徴

鈕と緒の境目に、2 条の平行線が描かれている

左右の縦帯と緒の間に空間 外縁付鈕 1 式の中山型みたいです

菱環鈕 2 I 式 辰馬 4 2 8 鐸もこの空間を持っている

2007 「新収蔵の銅鐸」 明治大学博物館研究報告 忽那敬三 参考引用